ショコ カタワラ通信

Vol.4

年に1度の本の祭典！

東京国際ブックフェアをより楽しむための3カ条！

来る7月5日（木）～8日（日）、東京ビッグサイトで
日本最大級の出版物イベント、
東京国際ブックフェアが開催されます。

平日の2日間は主に書店・出版社といった、
本に携わる仕事をしている人向けのイベントとなりますが、
後半土日は一般公開日となっていて、
本の好きな人がたくさん押し寄せる
大変大きな催し物です。

たくさんの本に出会う、ということであれば
大型書店に行けば事足りるかもしれませんが、
このブックフェアでは様々な出版社や印刷会社などが
趣向を凝らしたブースを設営して
私たちをお出迎えしてくれます。

本屋とはまた違った雰囲気があり、
行けばきっと面白い発見があること
間違いなしのイベント。

今回はそんなブックフェアをカクジツに楽しむための
ノウハウをお伝えします！

鉄則 その1 入場券は必ず事前にゲットしておこう！

東京国際ブックフェアのホームページに行くと
無料で招待券の発送を申し込むことができます。

http://www.bookfair.jp/

この招待券がなくても当日、
会場内に入る事はできますが、
その場合1200円の入場料が必要になるので、
できるだけ事前に申し込んでおく方がベターです。
もし友達や知り合いに書店・出版社に
お勤めの方がいたら、
招待券が余ってるかどうか聞いてみるのも
一つの手です。

鉄則 その2 開催されるセミナー・出展企業も要チェック

東京国際ブックフェアの会期中、
企業がブース出展するだけでなく、
様々なセミナーが行われます。

招待券の裏面に開催予定のセミナーが
コンパクトにまとまっているので、
手元に届いたら必ずチェックしましょう。
平日は書店や出版社向けに行われるものですが、
気になる講演があれば
積極的に参加を検討しましょう。
事前に申し込みが必要だったり、有料のものもありますので、必ず詳細を確認してください。

ちなみに土曜日は京極夏彦さん、
日曜日は養老孟子さんのお話が聞ける模様。
この2つはどちらも無料・事前申し込み制なので
興味のある方は早めに申し込んでおきましょう。

鉄則 その3 お金は余分に持っていく

というのも会場内、書籍の大半が
特別価格（大体2割引き）で販売されているので、
「欲しかったあの本がこの価格で！？」
ということがあったり、
「なにこの本、おもしろそう！！」
という出会いがあるのも間違いなしです。
せっかくのお祭りですから、
ちょっとサイフの紐をゆるめて、気になった本を
お値打ち価格でゲットしましょう。

クレジットカードが使えたブースもあったような
気もしましたが、すみません、ここはうろ覚え。。。
とりあえず小さな企業さんのブースだと
使える可能性は低いので、
やはりニコニコ現金払いが一番カクジツです。

そのほか、動きやすい服装、
丈夫なカバン・袋を持っていく、
会場がホントに広いので、ペース配分に注意、
などなどが注意する細かい点でしょうか。

あと「電子出版EXPO」という電子書籍にまつわる
イベントも同時に開催されていて、
実際に端末を操作できたり、新しい技術の発表があったり、
こちらも興味深い催しです。

7月、「リア充」ならぬ「ブック充」のために
お出かけしてみてはいかがでしょうか？

新刊情報

月刊ビル
春の2大特集
特集 大阪ニット会館/山本ビル

ビル愛にあふれるリトルプレス、
「月刊ビル」の最新号が
届きました！

5号目になる今回の特集は
大阪ニット会館と山本ビル。
どちらもタイルの模様が
とてもレトロかわいらしい。

タイルに関するうんちくを読んだら、ビルを見る目が
変わること間違いなしです。
バックナンバーは4号と特別号を取り扱っていますので、
まだ手にしていない方はこの機会にどうぞ！

ショコカタワラの妄想本棚 第2回

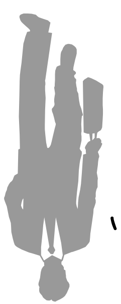
ショコカタワラが架空の人物を思い描いて、
その人の本棚はこんな本が並んでいるんじゃないか？と
オススメの古本を組み合わせて並べました。
もちろんお買い上げいただけるので、
気になる一冊があれば、引き抜いていってください。
ただしどれも1点限りとなりますので、
売り切れの際はご容赦くださいませ。

というわけで、今回の妄想はこんな感じです↓↓↓

ヨシヒロ(32)、妻一人、子一人。
建材メーカーの営業として働き始めてもうすぐ
10年になろうとするところ。
一度転職を考えたことはあるが、そのタイミングで
息子が生まれることがわかったので、
結局そのままズルズル今の会社に居続け、
なんとなく中堅になってしまった。
今年2歳になる息子の手本となるべく、
「良き父でありたい！」と思うが、
はたしてそれがどんな姿なのか想像できないので、
絶賛模索中。。。
もう少し子供が大きくなったら、
キャンプに連れて行って天体観測をするのが夢。

そんな彼の本棚はきっとこんな感じ→

良き父親像を模索する働くパパの本棚



◎ **男子のための人生のルール**
玉袋筋太郎（浅草キッド）

◎ **「雪見だいふく」はなぜ大ヒットしたのか**
重田暁彦

◎ **「ケンカ」のすすめ**
落合信彦

◎ **父のようにはなりたくない**
阿部夏丸

◎ **ぼく、オタリーマン**
よしたに

◎ **転職徒然草**
リクルートエイブリック編

◎ **プロ論**
B-ing編集部編

◎ **星座手帖**
草下英明

◎ **星の神話伝説集**
草下英明

暑くなってくると、アイスが食べたくなりますよね。
こないだ早速、ガリガリ君のレモンスカッシュ味を食べました。
基本的には「ソーダ is No.1」だと思っていますが、
イレギュラーを見つけるとつい手を伸ばしてしまいます。

ところでこのガリガリ君の製造元である
赤城乳業さんでは工場見学をすることができるんです。
そしてアイスの試食ができるようなので、
とても気になっております。
できたてのガリガリ君を食べてみたい！！！

気になった方は赤城乳業さんのHPで
詳細をご確認ください。
http://www.akagi.com/factory/observe.html

ショコカタワラセレクトの本があるお店

☆ブレーメンカフェさん
東京都江東区新大橋3-12-6
最寄：都営新宿線森下駅

☆ナチュラルベーグル 歌さん
長野県松本市深志3-8-17
まつもと市民芸術館の裏手

ショコ カタワラ

http://schoko-katawara.com
info@schoko-katawara.com
@schoko_katawara